

生徒会サミットの報告

生徒会サミット概要

日 時	令和7年7月14日（月） 14時～16時
場 所	富田林消防署 4階 市議会議場
参加校	市立中学校8校、府立富田林中学校 計9校
主な内容	①・各学校の取組みの発表 ・こどもの権利オリジナルかるたについて理由と併せて発表 ②・他校と交流（A～Iの9グループに分かれて実施） ・他校との交流や他校の発表を聞いて感じたことを発表

①こどもの権利オリジナルかるたについて(学校ごとの発表)

○権利（条文）別の整理表

項目	件数	オリジナルかるたとその理由（一部）
第2条 差別の禁止	3	し：知ってるかい？きみは特別 【理由】 悪口や何気ない言葉の重みを再認識し、誰もが安心して気持ちよく過ごせる学校にしたいという思いから な：なぜするの？みんな平等 葛中生 【理由】 差別の禁止を訴え、誰もが平等に楽しく仲良く過ごしていこうという思いから み：みんな同じ人間だから同じ権利がある
第3条 子どもにもっともよいことを	1	ぼ：ぼくにもネット友が欲しい 【理由】 様々な人と関わり、好きなことを存分に語り合いたいという思いから
第6条 生きる権利・育つ権利	4	わ：忘れないで今を生きる理由 【理由】 誰もが生きる権利を持っていることを忘れず、楽しく生きてほしいという思いから い：命はみんなに1つだけ 大事にしようこどもの命 【理由】 かけがえのないこどもの命を大切にしていこうという思いから み：みんな持つてる生きる権利を みんな持つてる育つ権利を 【理由】 当たり前にある生きる権利、育つ権利を大切にしたいという意見が出たため
第12条 意見を表す権利	2	ひ：一人ひとりの意見を尊重しよう 【理由】 自由に意見を言えない人がいる世の中で、自分の意見を大切にしてほしいという思いから み：認めよう相手の意見を 表明しよう自分の意見を 【理由】 自分の意見を抑え込まず、自由に言うことの大切さを感じたため

項目	件数	オリジナルかるたとその理由（一部）
第 15 条 結社・集会の自由	1	ぐ：グループだからこそ勇気を出せる 【理由】一人では挑戦できないことも、グループと一緒になら勇気を出せるという思いから
第 24 条 健康・医療への権利	1	え：栄養と居心地のいい環境 みんなで作ろう 【理由】誰もが安心して助けを求められる社会を築いていきたいという思いから
第 28 条 教育を受ける権利	1	【理由】教育は生きる上で非常に重要であり、全員が平等な教育を受けられない環境が問題だと感じたため。
第 31 条 休み、遊ぶ権利	5	み：みんなでみんなの個性を活かしてみよう 【理由】日々の授業で相手の意見を否定せず受け入れ、やりたいことや夢を応援することで、友達とのつながりを深めたいという思いから か：課題を減らして自由な時間が欲しい 【理由】課題に追われ、趣味や遊びを楽しむ時間が少ないと感じているため、勉強だけでなく、そうした時間も大切にしたいという思いから や：休むこと遊ぶこと こどもにとっての大事な仕事
第 36 条 あらゆる搾取からの保護	2	だ：誰からも奪われない 幸せさ 【理由】当たり前と感じている幸せを奪われず、守ることの大切さを感じたため し：幸せはみんなが持つことができるもの 【理由】誰もが幸せになることができ、その幸せが周囲にも波及していくという思いから
第 38 条 戦争からの保護	2	せ：戦争にはいかず勉強に励む 15 歳
その他（個別の権利に分類できなかったもの）	4	い：いつもありがとう 【理由】普段面と向かって言えない感謝の気持ちを伝えたいという思いから お：大人にもこどもにも大事な権利 つ：つけられた大事な名前 大切に

※項目の表記は、公益財団法人 日本ユニセフ協会「子どもの権利条約 第 1～40 条抄訳一覧」を参考にしたもの

○まとめ

- 約 40 個ある様々な権利の中から、10 の異なる権利に関連するオリジナルかるたが作成された。中には、複数の権利に関連することが考えられる等の理由で、個別の権利には分類できないオリジナルかるたもあった。
- 休み・遊ぶ権利（31 条）に関連するかるたが 5 件で最も多く作成され、次いで、生きる権利・育つ権利（6 条）が 4 件、差別の禁止（2 条）が 3 件と比較的多く作成された。

②グループディスカッション後の感想

○感想一覧（一部）

- 大切にしたい権利の意見がそれぞれ異なったが、その異なる意見をもつことが大切で、これをお互いに理解していくことが大切だと思った
- 他の人の考えも大事
- 権利を否定するのではなく、しっかり考えて発表していたから、すごく良いことだと思った
- 自分が思っていた以上にたくさんの権利があげられて、全部納得できたので、その権利を忘れないようにしていきたい
- 同じ権利の内容でも違う考え方があることに気づけたので、これから色々と話し合い、助け合い、改善していこうと思った
- お互いの違いを認め合い、分かち合うことが大事だと改めて思った
- みんなの意見を聞いて共感できる点があり、元々持っていた考え方とみんなの考え方が合わさってまた新しい考え方をすることができた
- 同じ条約でも様々な視点があって、自分だけではたどり着けないことに気づけた
- それぞれ大切にしたい権利が違ったが、意見が違っても認めることが大事だと改めて感じた
- 権利に対する考えや理解がより深まったと感ずることができた
- 子どもの権利条約の大切にしたい理由となる部分で、いじめとか、自分らしく生きられないとか、戦争が起こっているなど、色々な問題が出てきたので、そこを今度色々な視点から話し合いができればもっと良くなるのではないかと思った
- 子どもの権利条約は、日頃から意識するようにすることが大事という意見に共感した
- 自分だけでは考えて分からないことがたくさんあったので、みんなの意見を聞けてとても良かった

○まとめ

- 話し合いを通じて、子どもたちからは「意見の違いを認め合うことの大切さ」に関する感想が最も多くあげられた。
- 他者の考えを聞くことで新たな視点を心得権利への理解が深まったという学びの実感や、問題意識を持ち行動していくこと、今後も継続的に話し合いを重ねていく意欲を示す意見もあげられた。